

留 学 報 告 書

記入日: 2015年6月18日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヨーク大学 現地言語: York University
留学期間	2014年9月～2015年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 (主に Liberal Art & Professional Studies)
帰国年月日	2015年5月18日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (CAD)	円	備考
授業料		円	明治大学授業料のみ
宿舍費	200	20,000 円	契約時にデポジット等別途かかる 寮費は全て奨学金でまかなう(月\$800)
食費	2,000	200,000 円	
図書費	500	50,000 円	教科書
学用品費	200	20,000 円	
教養娯楽費	500	50,000 円	
被服費	500	50,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1,000	100,000 円	形態:ヨーク大学の留学生保険 \$200 明治大学海外留学保険 \$800
渡航旅費	1,000	100,000 円	
雑費	1,500	150,000 円	寝具、防寒具
その他	1,800	180,000 円	Meal Plan
その他	800	80,000 円	旅行代
合計	10,000	1,000,000 円	

渡航関連

渡航経路: Air Canada 羽田→トロント 直行便

渡航費用

チケットの種類 留学生割引

往路 _____

復路 _____

合計 10万円

留学生割引: 往復まとめて購入すると安くなります。

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Air Canada ウェブサイト

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1人)

3) 住居を探した方法:

入学許可が届いた後、大学から寮に関する書類が添付されたメールが届くので希望の滞在方法を選択し、送り返します。デポジット等の支払い手続きもあるので気を付けてください。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の滞在先はヨーク大学の中でも一番環境が良い寮でした。もちろん寮費は少し高かったですが、その分施設環境はとても良かったです。寮を選ぶ際は、自分の中で何を優先したいのか、優先順位を考えて部屋選びをするのが良いと思います。キャンパス内がいいのか、通学時間はどのくらいがいいのか、ルームメイトがほしいのか、プライベートが確保された場所がほしいのか、バストイレを他の学生と共有できるのかなど、それぞれの項目を考えて部屋選びをすると思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 特に病気になったことはありませんが、インフルエンザの予防接種が無料でできるということで、大学内の診療所で受けました。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生で問題があった場合はまず York International に行くのが良いです。交換留学生は何か相談事や質問事項があれば、国際課の窓口に行って相談をしていました。事前に予約して個別に相談が受けられるカウンセリングもあります。私はボランティア活動をキャンパス外でする際に、自分のビザの件や応募の仕方に疑問点がいくつかあったので、このカウンセリングを利用しました。とても良かったです。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ヨーク大学から登録したメールアドレスに自動でセキュリティ関連のメールが来ます。集団での暴行やひったくりなどがキャンパス内で起こると、その事件についての詳細な状況報告と注意喚起のメールが来ます。目撃者を探すためにセキュリティが学生にメールを送っているのがありますが、防犯にも役立つと思います。特に大きな事件等はありませんでしたが、このメールは思っていたより多く配信されたと思います。ヨークのキャンパス内は比較的安全ですが、夜一人で歩くには少し危険かと思います。キャンパスの近くには少し治安が悪いところもあるので注意が必要です。キャンパスの中には go safe というサービスがあり、夜遅くに一人でキャンパス内を移動する際に2人のセキュリティスタッフがキャンパス内の目的地まで無料で送り迎えをしてくれます。図書館等で夜遅くまで勉強していた女子学生などが利用していました。オリエンテーションでサービスの電話番号を教えてください、携帯電話に登録しておくのをおすすめします。

<p>4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>私は現地のセブンイレブンでオンラインでチャージできるプリペイド携帯を購入しました。これはテキストメールと電話が使えます。インターネットサービスはありません。\$50で本体を購入し、\$25を滞在中に2回チャージしたので携帯電話に費やした費用は\$100くらいです。私はwifiがない環境でこの携帯を使って連絡をとり、wifiがある場所では日本で使用していたiphoneをネットにつないで使用していたので、常に2台の携帯を持ち歩いていました。トロントは比較的設備が整っているの、わざわざネット契約をしなくても私は大丈夫でした。カフェやレストランにはwifiがついているところが多くありますし、ショッピングセンターやトロントの地下鉄TTCの主要な駅にもが無料wifiが設置されています。大学内のネット環境ですが、ヨークには二つのwifiがあります。どちらもヨークの学生であれば使えるはずなのですが、私はなぜだかパソコンを一つのwifiにつなげることができず苦労しました。大学内のどの場所にも二つのwifiが設備されているわけではなかったの、私が見える一方のwifiがない場所だとまったくネットにつなげない状況でした。寮は私がつなげるのでできないwifiしか設備されていなかったの、有線ケーブルでつなげていました。寮のネット環境はあまり良いとは言えず、使用できなくなることが多々ありました。</p>
<p>5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>大学の中に支店があるBMOという銀行で学生口座を開きました。留学生でもパスポートと学生証があれば、一日で簡単に作れます。デビットカードやクレジットカードにもできます。カナダのクレジットカードが欲しければ、クレジットカード付キャッシュカードにすると良いと思います。口座解約もすぐにもできます。寮費やその他ヨーク大学に払うお金はヨークのオンラインアカウントから支払います。その支払いは現地の学生口座から直接送金できるようにもできるので、簡単な登録をしておくのをおすすめします。銀行の方は皆親切ですので、質問があれば窓口で聞くのが一番です。</p>
<p>6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</p> <p>電子レンジでお米が炊けるちびくろちゃんです。出発後に荷物を送るとなるとEMSを使うと思います。EMSは追跡機能がついていて、日本からカナダの場合ですと約1週間で送ることができます。料金は比較的高額ですが、確実に短時間で届きます。私は実家から何度か日本食をEMSで送ってもらいました。</p>
<h2>進路について</h2>
<p>1) 進路</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>就職 <input type="checkbox"/>進学 <input type="checkbox"/>未定 <input type="checkbox"/>その他:</p>
<p>2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</p> <p>就職キャリア支援事務室の活動報告書</p>
<p>3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)</p> <p>三井住友銀行 日系企業がさらなる海外展開を視野に入れる中、金融業界がまず初めにグローバルなビジネスのサポート体制を作り出さなければいけないと考え、より一層海外志向が求められる金融業界、そしてお金が必要などころにはすべて関わることができるフィールドの広さに魅力を感じたので、就職先とし選んだ。</p>
<p>4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)</p> <p>今年は経団連の就職活動スケジュールに大きな変化があったため留学生にとっては比較的就職活動がしやすかったと思います。しかし初めてのスケジュールなので先が読めず、不安になることもありました。しかし留学経験者を積極的に採用してくれる企業もたくさんあります。3年の後期からの留学でしたが、企業の面接ではどうして3年の後期から1年間の海外留学をしたのか真剣に理由を聞いてくれて、逆に就活等を心配しないで留学を決断した勇気をほめてくれた面接もあります。留学中に日本の就活が始まっても、焦らず今しかできない留学生活を思う存分楽しんだ方が勝ちです。みんな解禁日に髪を染め、スーツを着だす日本の単一社会を鼻で笑ってやるほどの自信が必要です。濃い留学体験とともに帰国すれば、どんなに就活開始時期が遅くてもきっと大丈夫です。</p>
<p>5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。</p>
<p>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。</p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 18 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Racism in Canada	カナダの人種差別
科目設置学部・研究科	Liberal Arts and Professional Studies
履修期間	通年
単位数	6
本学での単位認定状況	6 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 2 時間、チュートリアル 1 時間
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Tania Das Gupta / Peter E. Dawson
授業内容	秋学期:カナダの人種差別について講義形式で学ぶ 冬学期:講義とともにグループプロジェクトが始まる
試験・課題など	中間テスト、期末レポート(8頁)、中間レポート(2頁)等
感想を自由記入	内容が難しく、毎回のチュートリアルではディスカッションやグループワークがあるので一年間で一番苦勞した授業です。後期では collaborative initiative というプロジェクトが始まり、授業で習ったことを実際に行動に移してみようというもので、グループで何かイベント等の開催を求められます。成績は peer evaluatin そのプロジェクトの完成度によります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Photographic experience	写真実技
科目設置学部・研究科	Department of Fine Art
履修期間	冬学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義3時間、チュートリアル1時間
授業時間数	1週間に 240 分が 1 回
担当教授	Katherine M Knight / Zoe Heyn-Jones
授業内容	写真の歴史、有名な写真家の写真を考察
試験・課題など	毎週オンラインで小レポートと写真課題の提出があります。毎週お題に合わせて写真を撮るのが楽しかったです。試験はなく、主要な写真提出課題が2つあり、成績は作品で評価されます。
感想を自由記入	留学前から写真を撮るのが好きだったので、大変面白かったです。写真好きには最高の授業です。同じような趣味を持った友人と知り合いになれるだけでなく、とても独創的な写真を撮る学生もいて、とても刺激になります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Equity, diversity and inclusion in the workplace.	企業の多様性尊重
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義3時間
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Ron Ophir
授業内容	職場でのダイバーシティ推進について考える授業
試験・課題など	
感想を自由記入	教科書がとてもわかりやすく、授業で習う概念等は比較的簡単に理解できます。今後の日本でも職場環境の改善は必要不可欠であり、自分の就職活動において企業を見極める点でとても役に立つだけでなく、海外の職場環境がどれだけ多様なのかも実感しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Urban Enviromental Justice	現代環境正義
科目設置学部・研究科	Geography
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 3 時間
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Richard Anderson
授業内容	北アメリカで生まれた環境正義という概念は、国籍や人種、性別等に関わらず、地球上のすべての人々が清潔な環境を平等に与えられるという権利を示したものの、その概念について考察し、トロントの環境問題について考える
試験・課題など	7~8 頁以上のレポートを学期中に 2 回提出。どちらも環境正義に関する自分の主張をまとめるもので、比較的書きやすかったです。
感想を自由記入	3時間で休憩が一度もなかったのがつらかったです。でもこの考えが私はとても好きだったので、とても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender and Religion and Human rights in cross cultural perspective	異文化視点からの性、宗教、人権
科目設置学部・研究科	Human rights and equity Studies
履修期間	冬学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 3 時間
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Minoo Derayeh
授業内容	世界の宗教からみた女性や男性、人権等
試験・課題など	課題は小レポートの提出が 3 回程度あり、期末テストがあります。
感想を自由記入	宗教それぞれの習慣や聖書に出てくる専門用語が授業中にたくさん出てきて苦労しました。しかし世界の宗教のパラエティーの豊かさを知ることができました。ストライキがあり、授業回数がかかり減ってしまったの残念。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	7月 TOEFL勉強
8月～9月	8月 TOEFL受検
10月～12月	11月 書類提出 12月 面接
2014年 1月～3月	1月 結果発表
4月～7月	5月 入学許可受領 6月 寮への申し込み 7月 ビザ申請・航空券予約
8月～9月	9月1日 日本出発 9月1日～8日 現地で生活用品等の調達、日常生活の準備 9月8日 授業開始
10月～12月	秋学期
2015年 1月～3月	1月4日 冬学期開始 3月 ストライキ 3月31日 授業再開
4月～7月	4月下旬テスト期間 5月18日 帰国 5月下旬より就職活動開始
8月～9月	8月 就職活動 9月 成績開示 単位交換終了
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	明治大学に入学する前から、大学生活のどこかで海外留学がしたいと思っていました。2年次に国際日本学部独自の留学プログラムで留学を考えた時期もありましたが、どうしても長期留学をしたいという思いがありました。2年次はTOEFLの成績も満たさず、確固たる留学理由も定まっていなかったため、一度留学をあきらめました。3年次に留学をもう一度したいと考え、TOEFLを受験し続けて希望大学のスコアに達したので、協定留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	とにかく最初はどの大学にでも十分応募できる TOEFL スコアの取得(75~85 点)を目指して勉強するのが大切です。TOEFL は海外大学での講義内容を模範とした問題構成ですので、TOEFL をしっかり勉強しておけば、留学先での授業もすぐに慣れると思います。そして明治大学での勉強もおろそかにしないことが大事です。もちろん協定留学に応募する際、GPA が必要という理由もありますが、留学先で今まで何を勉強してきたのかと問われることがあります。ただ海外で生活したかった、勉強したかったなどの理由では通用しないと思います。『今までこんな勉強をしてきて、もう少しこの分野について学んでみたいから来たんだ』と胸を張って言えるように、明治大学での授業やゼミに責任を持って取り組むのが大事だと思います。
この留学先を選んだ理由	まず協定留学の派遣先国としてカナダが第一希望でした。ゼミで研究している多文化共生社会の推進国であるカナダは、手厚い移民政策や多様な環境を認める社会で有名です。実際に多様な社会を肌で感じたいということで、カナダのみで留学を考えていました。カナダの大学は確か 2 つ選択肢があったのですが、中でも特に多文化が混合し、移民が多い環境であるトロントにある大学で勉強したかったので、迷わずヨーク大学を選びました。またヨーク大学は私の興味のある人権や多様性について学べる授業が数多く開講されていたので、こじかない！という強い志望理由がありました。
大学・学生の雰囲気	とにかく大学の環境は多様でした。学生の年齢も国籍も言語もまったく人それぞれです。ヨーク大学はとて規模の大きい大学ですので、大学のキャンパスが一つの街のようです。今まで日本では見たことがないくらい多様な環境で、自分がちっぽけに感じてしまうくらいです。学生、教授、ひとりひとり社会背景が異なり、毎日が刺激的です。働きながら勉強している学生が多いです。皆自立していて、自分の興味のある分野を勉強しています。試験前は大学の様々な場所で夜遅くまで勉強している学生がたくさんいます。大学の中に国籍別の Student Association やその他様々な学生団体が存在していました。
寮の雰囲気	私は正規留学生が多く滞在する Pond Road Residence に滞在していました。キャンパスの寮の中で一番施設が良いと評判の高い寮です。キッチンとバスルームを 2 人でシェアし、それぞれベッドと勉強机があるプライベートの部屋があります。寮では誕生日パーティーやハロウィンパーティー、ヨガ教室など、ほぼ毎週イベントが開催されていました。特に印象に残っているのが Multicultural Fair と Pond Art Show です。Multicultural Fair は国ごとにテーブルが置かれ、料理や文化を紹介します。私は日本のブースを担当し、浴衣を着て豚汁や炊きこみご飯を振る舞いました。自分の文化を知ってもらい日本の味を伝えるのはとても楽しく、それ以上に様々な国の文化も知ることができて一番思い出に残っています。もうひとつの Pond Art Show は Identity というテーマで作品を出展します。同じフロアの子と自分たちの写真を撮り合い、組み写真にして出展しました。このようにたくさんの交流機会があり、とても楽しい寮生活を送れます。試験期間に近くなる Quiet Hour という時間が寮にあり、静かに勉強する環境が整っています。
交友関係	留学生が交流するイベント等が大学内で探せばたくさんあるので、積極的に顔を出すと交流の輪が広がります。あちらこちらでいろいろなイベントがあるので、自分の予定と合わせながら参加してみてください
困ったこと、大変だったこと	一番大変だったことと言えば、間違いなく大学で起きたストライキです。ストライキとは、大学にある教授や TA などによる労働組合と大学との間で交渉が炸裂した場合に起こります。日本でもストライキという言葉は聞くかもしれませんが、やはり海外のストライキは本格的でした。大学側と労働団体が交渉があまりうまくいかなければ、ストライキが合法的にできるのです。とにかく今までのストの話などを調べ、長い時は 3 か月と聞き、もしストライキが起こったらどうなるのだろうと途方に暮れました。特に私は帰国後 4 年になり、就活が控えていること卒業のためにまだ単位が必要なことなど、もしストライキで帰国が遅れたり、単位がもらえなかったりした時のことを考えるとかなり不安になったのを覚えています。次の日から授業はなく、結局 30 日間のストライキを経験しました。ストライキの期間は授業もなく、とりあえず自習を進めました。本当に周りの友人や明治大学国際教育事務室の方々、家族に支えられ、最後まで留学生活を終えることができました。本当に感謝しています。次ストライキが起こるのはおそらく 8 年後くらいだと思います。ストライキが起きないのが一番良いのですが、起きた時は存分に日本では経験できない異文化体験を楽しんでください！

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は Human riht and Equity Studies という学問を中心に、人権や多様性について一年間勉強しました。カナダはマイノリティー問題についても隠そうとせず、前向きに考えていく姿勢があり、人権や差別等の問題について深く考える授業が多く開講されています。初回の授業は本当に緊張したのを覚えています。最初は教室の場所がどこかの確認から始まり、先生や授業、学生の雰囲気も想像がつかず、まずは海外の大学の授業に慣れることで精一杯でした。もちろん最初は先生が何を言ってるのかさっぱりわからず、ディスカッションにもついていけない状況でしたが、事前に教科書を読んでいくだけで、授業の理解度が格段に上がりますので、最初はどんなに時間がかかっても予習は怠らないようにしました。もちろん日本では読んだことのない難解な長文にうんざりすると思いますが、自分の興味があることであればきつと苦ではないと思います。図書館にもってひたすら文献を読むのも、留学生活の良い思い出になると思います。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>毎週、教科書を読んで予習しました。ほとんど chapter を1つから2つ読みます。特に強制ではありませんが、ほとんどの学生が授業前までに目を通してきます。課題は教授によって様々です。オンライン上で毎週必ず小レポートを提出する授業や、8ページほどのレポートを半期で3回提出など、授業形式や課題内容も様々です。私の履修していた授業はレポートが多かったです。レポートの書き方にはAPA形式とMLA形式があり、これがかかなり複雑でありとても重要で、教授の指定した形式で書き上げなければいけません。またしっかりと自分の主張や結論を含み、参考文献の引用なども必要ですので、かなりの時間と労力が必要でした。私は writing center に半期で3回以上行き、先生に添削をしてもらいました。担当の先生はとても親切で協力的でした。小さな文法のミスから話の流れまで相談に乗ってくれます。試験も授業で様々です。テスト範囲が広いので大変ですが、落ち着いて試験範囲を確認し、わからないところは先生に確認するのが良いです。やはり海外の勉強は大変です。それに加え、皆さんは交換留学生なので、長年授業に関連する基礎知識を一年生から学んでいるヨークの学生に比べると苦労するのも当然です。だから自分ができないことやわからないことを恥ずかしいと思わないでください。わかっていないのにわかっているフリをするのが一番恥ずかしいことです。相手の言っていることや授業でわからない点があれば、ためらわずに教授やクラスメイトに質問していいと思います。私は授業の内容がまったくわからず、自分でどうにかしようとしていましたが、教授やクラスメイトに質問をすると皆丁寧に答えてくれることがわかりました。是非周りの人を頼ってください。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>カナダはボランティア天国というのを聞き、せっかくなので経験してみようと思い、様々なボランティアに挑戦しました。運営スタッフやイベントボランティアをやりました。新しい友人ができるだけでなく、英語力の向上や初めてでの人でも気軽に話しかけられる対コミュニケーション能力が付きまします。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>一度でも海外で勉強したいなと思った人は、是非留学を後回しにしないで選択肢の一つとして挑戦してみてください。大学生のうち留学を経験することは、将来の自分にきっとプラスになると思います。「どうして日本人は海外で勉強しないの？」と留学先で多くの友人に聞かれました。そのたびに私は「日本はあまりに便利で環境の良い場所だから海外に行きたくないんだと思うよ」と答えていました。この答えが正しいのかは今でもわかりませんが、本当に日本は海外に比べ良い環境です。便利で安全で食べ物はおいしく、最高の環境です。一度海外に出てみると、その便利な環境がどれだけすごいことなのか改めてわかります。それだけでなく、こんな手が届くところに何でも揃っている環境は世界にはそんなに多くないと、そして世界の人はもっと世界を知っていると感ずると思います。もしかしたら少し取り残された気分になるかもしれません。母国に住むのには危険な環境だからということで移民してきた子や、家族と新しい人生を歩むためにカナダに移り住んだ子など、私達が普段なかなか視野に入れて考えないことを10代のうちに経験している子にも出会いました。このような新しい視野や自分が何にも知らないというちょっとマイナスな感覚を味わうのが、海外で暮らすメリットなのではないでしょうか。私の留学生活は決して順調と言えるものではありませんでした。きっと皆さんも留学生活も完璧に描いた道筋通り進むことはないと思います。ただひとつ言えるのは、異国の地で様々な経験をすると、もう何があっても怖くない！と本当に芯の強い人間になれます。これからの将来、若い頃に身に付けた芯の強さはきつと役立ちます。留学はきつと皆さんの人生を豊かにすること間違いなしです。挑戦したいという意志のある方は、是非少しずつ自分のできることを始めてみてください。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	ESL Center	ESL Center	授業	ESL Center	ジム	自由時間	ジム
	予習	ESL Center	授業	予習	予習	自由時間	ジム
午後	授業	勉強	Writing Center	授業	自由時間	勉強	自由時間
	授業	勉強	自由時間	授業	自由時間	勉強	自由時間
夕刻	自由時間	勉強	自由時間	写真サークル	勉強	勉強	勉強
夜	勉強	勉強	勉強	勉強	coffeehouse 留学生交流	自由時間	勉強